



迎春 く活力あふれ、人が輝くく「住んでよし、誇れる泉崎村」

あけましておめでとうございませう。

村民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、岩手県大船渡市における大規模林野火災や、大分県関市における大規模な住宅火災が発生しており、また12月には青森県沖で最大震度6強の地震が発生しました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

本村におきましても、時と場所を選ばず起り得る災害への対策に、関係機関と共に取り組んで参ります。

さて、昨年の村長選挙におきましては、村民の皆様からの負託をいただき、無投票当選とさせて頂いたばかり、引き続き2期目の村政を担わせていただくこととなりました。初心を忘れず歴史と文化にあふれた故郷を守り、そして更なる発展に繋げていくため、誠意と熱意をもって全身全霊で「住んでよし、誇れる村づくり」を目指し、取り組んで参る覚悟でございます。村政の運営に当たって

は、住民の皆様の声に耳を傾け、かゆいところに手が届く、きめ細かで温かみのある行政運営を基本に進めて参ります。さらに、全国的な課題となっており人口減少対策につきましても、村独自の総合戦略を策

として、石破政権においては米の増産を提示したものの、変わった高市政権では以前の減反政策を打ち出すなど、生産者としては何を基準に生産に取り組みればよいか戸惑うところでありま

す。村としても、今後た。今年も気仙沼大島から提供いただいたサンマの炭火焼き、地元野菜を使った豚汁などが振る舞われ、参加者には満足をお願いしました。また、敬老会については、敬老者を招待し、米寿、金婚、しあわせ金婚の皆様をお祝いし、アトラク

ションにより大いに楽しんでいたいただきました。秋には、「収穫感謝祭」が開催されました。天候はあいにくの小雨模様でありましたが、1,000名を超える来場をいただき、ステージイベントで大いに盛り上がり、出店ブースでは新鮮野菜や果物等を買求めるなど、大いに賑わう一日となりました。

また、毎年さまざまなドラマを生む「市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」は、今回で37回目を迎え、村の部で4年ぶりの優勝を飾ることができ、総合でも11位という素晴らしい成績を収めました。今年は中学生の躍進が目覚ましく、応援された皆様に大きな感動を与えたものと思います。こうした頑張り、これからの

村づくりの原動力になるものと確信しております。今後もさまざまな分野での活躍を期待し、地域の一体感や活力の醸成に繋げ、将来を担う子どもたちが希望を持てる「住んでよし、誇れる村づくり」を村民の皆様と共に築いて参ります。

今年の干支は、「午（うま）」です。馬は本来、常に前進する動物であり、後ろを振り返らず前へ進み、発展・成長・努力の実りの象徴とされています。また、馬にまつわる四字熟語として「馬頭成功」という言葉があり、これは、「午が到着すれば成功が訪れる」という意味で、迅速な成果と目標達成を表しています。

本村におきましても「馬頭成功」にあやかり、「スピード」と「実行力」をもつて、村政運営に邁進して参ります。

本年が、皆様にとりまして幸多き一年となりますことを、心から祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。



村長 箭内憲勝

Norikatsu Yannai

定し人口減少に歯止めをかけ、活力ある村づくりに邁進して参ります。

また、昨年は令和の米騒動などと言われ、米不足により価格が高騰し、稲作農家も困惑するような出荷価格となりました。米の政策

の国の動向を注視しながら適切に取り組んで参ります。

昨年の明るい話題として、春には「いずみざき桜ウォーク」が開催され、約800人の参加者が見事に咲き誇った桜を楽しまれました。

新年を迎えて

あけましておめでとうございます。村民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこ
とと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より議会活動に対し、温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和8年の新春を迎えるに当たり、村民の皆様にご代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、米不足により政府の備蓄米の放出等、日本各地で巻き起こった令和の米騒動。高齢化社会による労働力不足や社会保障費の増加による2025年問題の深刻化。大阪・関西に15の国・地域が参加し、日本各地、諸外国から多くの人々が訪れた「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマにした大阪・関西万博の開催。そして、日本憲政史上初となる女性の首相が誕生。令和7年は国内での大きなイベントや社会構造の変化、激動する国際情勢の中、さまざまな課題が明確になった一年でありました。まさに変化や再生の年であったと思います。

そしてさまざまな災害等も各地で起こった年であり

ました。昨年は梅雨明けが早く観測史上最高の猛暑を記録し、雨不足により各地で稲作の現場に影響を与えました。山では熊のエサとなる木の実の生育が悪く、熊が食料を求めて山から農地や住宅地へ頻繁に出没し、熊による人身被害が全

ました。また、記憶に新しい12月発災の最大震度6強を記録した青森県沖地震。災害はいつどのような状況で起こるか分かりません。災害前から発生時、発生後を見据えて防災対策や、被害を最小限に抑えるための備えや行動を考えておかな



岡部英夫 議会議長

Hideo Okabe

国各地で多発。連日の市街地に熊出没のニュース等が報道されました。また2月に岩手県大船渡市での大規模山林火災が発生、11月には大分県大分市の住宅地で火災が発生し、乾燥や強風により未曾有の被害となる大規模火災となつてしま

ければなりません。日ごろから防災意識を高め、自助・共助の意識と地域との繋がりが重要になってくると思います。

また泉崎村においては、箭内村政2期目の新たな村政のスタートを切りました。健全財政をモットーに

更なる発展を目指し、村民が健康で、安心して暮らせる「住民が誇れる村づくり」の目標に向かってJR泉崎駅東西自由通路整備等の駅周辺整備、踏瀬長峯の大規模圃場整備等の大型の事業。また学校給食センター建設等を目標に掲げ、将来を見据えた村づくりに邁進しております。

議会においても、それぞれの議員は志を高く持ち、村民の皆様にご代表して公約を果たすため、日々努力を重ねているものと認識しております。令和8年においても議員それぞれが自らの議員活動に力を注ぎ、幅広い層から丁寧に意見を聞き、村政に反映できるよう努力し、皆様と共通認識を持つた上で政策提案していくことも必要であると感じております。

令和8年の今年は「午」年です。十干十二支では、「丙午（ひのえうま）」の年であります。新しい挑戦へ光が差し、前進することを感ぜられる年と言われている、新しい飛躍や成長へ向けて力強く駆け抜ける一年と言われます。勢いも強くなるため、焦りや勢いに任せての行動とならないよう冷静な判断力と行動が力

となるようです。

議会は二元代表制の一翼を担うものであり、住民の代表として行政の施策に対し積極的に議論し、監視・チェック機能を果たしていかなければなりません。新たな年を迎え、議会も自己改革を図り、意識をより高く持ち、多様な意見を前提に議論を重ねて合意形成していくことが重要であると思います。そして、大きなプロジェクトへ向けて進む泉崎村とともに議員一人ひとりの意見や主張、考えを持つた上で多様な意見に耳を傾けて、冷静な判断をしていくことが議会議員として必要となつてくると思われま

す。より一層の創意工夫をし、執行機関との真摯な議論をして泉崎村の発展に向けて協力していく所存であります。皆様の声を村政に反映し、泉崎村が発展を続け、皆様が住んで良かったと実感できる村づくり、子どもたちが未来に希望を持てる泉崎村になるよう全力で取り組んで参ります。

結びに、本年が皆様にとって幸多き一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。